

## 事 業 実 績 書

団体名 NPO 法人なかまっち

1 補助事業名	親子が安心して過ごせる場づくり事業
2 実施結果	<p>・子ども食堂開催方法 コミュニティーレストラン「なかまっち茶論」において平日 12 時～13 時に子ども価格での食事提供 (食)</p> <p>令和6年2月より「なかまっち食堂」を隔週 17 時～19 時で開催 開催日数 4 日 (れ)</p> <p>利用者数 54 名 なかまっち茶論+なかまっち食堂(延べ人数) 月別利用者数別紙参照 小学低学年以下 216 名 / 小学高学年以上 165 名 /</p> <p>・過ごししば場 令和6年1月より月曜日、水曜日下校時～17時開催 年間利用者数(延べ人数) 月別利用者数別紙参照 開催日数 32 日 利用者数 214 名</p>
3 実施成果	<p>・子ども食堂 通常のなかまっち食堂を子ども価格で提供。振替休日や長期休みの利用は多く特に過ごし場を開催するようになってからの長期休みは増加した。 コロナの影響で開催中止をしていた夕方のなかまっち食堂も 2 月より再開し、利用者もコロナ前より増加した。</p> <p>・過ごし場 利用方法などの検討課題が多く 1 月からの実施となった。 “宿題をしてから遊ぶ”を基本のルールとし、子どもたちにも定着した。 過ごし方の制限はとくになく、17 時までは来店及び退店も自由。公民館や児童館と同じ扱いとした。春休みには子どものいない地域の方々にも周知を兼ね、中町駐車場の草取りを実施した。 なかまっち食堂開催日には、先に子供が来店し保護者は仕事を終えてから合流するなど利用の仕方の幅は柔軟に対応していく。</p>
4 繼続に向けての課題及び改善提案	利用に制限をしたくないが一部の保護者において、子どもを預けていく感覚を持つ方がおられたことから、なかまっちの過ごし場の定義を明確にする必要があると感じた。来年度は時間についても 19 時まで対応を検討しており、保護者との面談の必要性があると考える。

(様式第7号)

収支決算書

収入

(単位：円)

費目	決算額	明細
補助金	5,000,000	こどもヨガ活動支援補助金
自己負担	204,249	
合計	5,204,249	

支出【補助対象経費】

(単位：円)

費目	決算額	明細
人件費	1,316,901	こども販売スタッフ、子ども食堂スタッフ人件費
賃借料	180,880	こどもの居場所、新規借上料。(上の部屋F戸)
需用費	374,201	こども食堂食料、消耗品。
役務費	0	
委託料	1,311,880	HP作成委託料、SNS、4ランク報酬委託料
備品購入費	1,372,297	こどもの居場所内使用備品。
工事請負費	648,090	階段塗装工事、蔵部屋改修。
合計①	5,204,249	

※ 補助対象経費については、領収書等の写し等を添付のこと。

支出【補助対象外経費】

(単位：円)

費目	決算額	明細
合計②	0	

支出合計①+②	5,204,249
---------	-----------

上記の通り相違ありません

住所 福井県大飯郡高浜町三明 1-12

名称 NPO 法人なかまづお

代表者名 澤田 大輔

